

能登半島被災地支援レポート



第4回支援活動：10月4日（金）～6日（日）

<概要>

活動地域：石川県輪島市（社会福祉協議会、河原田公民館、門前地区介護施設、七浦公民館他）

活動内容：各所において、お菓子、フレッシュジュースを配布。

東京都足立区に本社のある株式会社マツブン様※よりお預かりした衣類、タオル等を提供。

※衣料品への高い刺繍技術を持つ企業。サンプル品として在庫があり、提供の申し出を受けました。

同社としては直接現地の行政へ支援の申込みを行うも、役所側の調整が付かず、実現されずにいたところ
BR 本部との取引、且つ、miraie としての活動実績もあることから、支援への橋渡しのお話を頂戴しました。
これに伴い、現地との調整を行い、miraie として、現地との調整を行うとともに、商品を預かり、直接、提供を行いました。

<今回の活動について>

継続的な支援を行ってきた各施設に加え、初めて『輪島市社会福祉協議会』へ伺い、今後の miraie の支援活動における重要なコミュニケーション先となる様に打合せを行いました。また、9月21日に発生した豪雨被害状況を確認。今後の支援体制や支援物資等に関しても情報収集を実施。

<復興状況及び問題点>

豪雨により、輪島市街地にある被災者仮設住宅が床上浸水の被害を受けました。また、山間部では大量の土砂が住宅に押し寄せ更に河川では山から流れ出た大量の木々で堰き止められ、行き場の失った水は隣接住宅を襲いました。地震からの復旧・復興が徐々に進む中での被害発生であり、何より居住者の皆様の精神的なダメージが大きく、正直、励ましの言葉を掛けることさえ、空虚に感じてしまいました。ただ、これから厳しい冬を迎える中、これまで通り、継続的な支援を行う事が重要であると再認識いたしました。

<支援活動の様子>



七浦公民館へ飲料、衣料品を提供



河原田公民館へ飲料、お菓子を提供



介護施設「ゆきわりそう」への飲料提供

輪島市社会福祉協議会への訪問



輪島市役所前 河原田川が氾濫 欄干には多くの木々で堰き止められ、河川氾濫による被害が拡大



輪島市門前町七浦公民館（旧七浦中学校）は震災後につき、豪雨災害においても孤立を強いられた。